

短期計画の再編案の課題

<短期計画>

- 東小川小学校を小川小学校に統合する。
- 統合は概ね3年をめどに行う。

東小川小学校の小川小学校への統合について

1 諮問にある統合案の必要性

- 複式学級の成立を避けることを大きな理由として、東小川小学校を小川小学校に統合することは必要か。
- 児童数減少の見込み数からすると複式学級を回避するためには3年をめどに統合を進める必要があるが、タイムスケジュールとしてそれは可能か。

参考資料

【今後入学してくる児童の状況】

現東小川小学校区

*平成31年3月19日現在

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|
| 中 爪 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 東小川1丁目 | 1 | 2 | 0 | 3 | 1 | 1 | 2 |
| 東小川2丁目 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 |
| 東小川3丁目 | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 東小川4丁目 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 |
| 東小川5丁目 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 東小川6丁目 | 2 | 2 | 3 | 1 | 1 | 4 | 1 |
| 合 計 | 6 | 12 | 5 | 9 | 4 | 9 | 8 |

現小川小学校区

*平成31年3月19日現在

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|
| 全地区計 | 28 | 40 | 46 | 50 | 58 | 58 | 48 |

現東小川小学校区と小川小学校区の合計 *平成31年3月19日現在

| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 6歳 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|
| 全地区計 | 34 | 52 | 51 | 59 | 62 | 67 | 56 |

2 東小川小学校を小川小学校に統合する場合の想定される課題

3年をめぐりに東小川小学校を小川小学校に統合する場合にどんな課題が想定されるか。

(1) 通学距離と通学方法

＜想定される課題＞

- 現東小川小学校の児童全員が小川小学校に通学することになり、通学距離がこれまでより2km程増えるが、通学上支障の出る児童はないかを検討する必要がある。
- 通学上の危険箇所はないか早急に点検し、改善の必要がある場合には適切な措置を取る必要がある。

(2) 児童の心のケア（統合による環境変化への対応）

- 現東小川小学校の児童については小川小学校への吸収統合という形になるため、児童の心理状況を注視し、特別な配慮及び指導が必要となる。
- 現小川小学校の児童についても、全員が同じ学校の仲間という意識が持てるような事前及び事後の配慮及び指導が必要となる。
- 統合に当たっては児童数の増えた新たな学校という観点からこれまでの小川小学校の教育課程を見直し、新たな体制でスタートできるよう準備が必要となる。

(3) 統合に関わる学校の施設設備・予算

- 児童に統合してよかったという意識を持たせるために、施設設備を改修する必要がある。
- 小川小学校の児童数が増加することを想定し、必要な教材、教具、備品を点検し、事前に揃える必要がある。（そのための予算措置が必要）

(4) 地域・保護者

- 現東小川小学校の児童の保護者及び地域住民の統合に関する意識を把握し、統合に対する理解を深める説明が必要である。
- 行政区と学校区のずれが生じることを想定し、地域住民に不便や混乱をきたさない調整が必要となる。
- PTA組織、学校応援団、交通安全指導等、これまで地域として取り組んできた組織の再編と活動内容を、統合後を想定して検討する必要がある。

(5) 3年という統合計画

- 3年後に学校統合する場合には、来年度（令和2年）から様々な準備に取り組む必要があり、町より諮問をいただいた短期計画について今年度中に答申を出す必要がある。